

2012年度学術交流支援資金（国内外でのインターンシップ、フィールドワーク科目支援）の報告

科目名：グローバル環境システム

研究課題：水俣などにおける「エコ地域開発」をテーマとして、大学院生がフィールドにおいて行う研究、インターンシップの円滑な受け入れ、実施のための現地の基盤整備

代表者氏名：小林光（政策・メディア研究科教授）

低環境負荷型の新しい経済社会の建設のためには、地域における再生可能エネルギーその他の地域資源の活用が不可欠であり、このテーマに関する大学・大学院における教育研究においても、現地においてその過程のつぶさな観察や参画が必須となる。このことに鑑み、本研究支援資金を活用し、2012年度には、7月における現地訪問・事前準備を経て、8月初に、熊本県・水俣地域における公害教訓とエコ地域再生をテーマにした国際シンポジウムを地元市の積極的な支援を得て開催した。この行事により、国内外から多数の参加者を得て、同市における環境的な地域再生へ、本塾の教員、学生が参画する基盤作りが大いに進展した。（2013年度には、ASEAN各地の大学と連携して進めるFBAによる国際学生参加のプログラムを本塾の特別研究プロジェクトとして、講義などを水俣現地で実施する予定が立ってくるとの成果につながっている。）また、同様な、フィールドにおける教育研究の可能性を、地熱が豊富な福島県・会津地区においても探った。

以上のように、本資金を活用し、教育研究に供し得る現場フィールドの開拓、整備が進捗した。

以上